

記載例・注意点等

収 支 予 算 書

提出書類 特定一ウ

事業の実施（助成対象期間：令和8年10月1日から令和9年3月31日）にかかる収支計画について記入してください。
 ※必要に応じて、適宜、行を追加してください。

提出書類 特定一ア 3のとおり記入してください。

■収入の部 (単位：円)

項目	具体的な内容	積算根拠	金額
助成(補助)金	大阪市民活動推進事業補助金		3,000,000
その他助成(補助)金 (国・府・他都市)			
小計			a 3,000,000
その他助成(補助)金 (企業・団体)	●●助成金		2,000,000
事業に係る収入(※)	イベント参加費	500×30名×12回=180,000円	180,000
自己資金			1,398,500
小計			b 3,578,500
合計			A (a+b) 6,578,500

市民活動推進助成以外に受けている(受ける計画のある)助成金・補助金を記入してください。

※イベントへの参加費や事業関連グッズの売上等

募集要項7ページを確認の上、経費区分ごとに詳細を記入してください。また積算根拠についても詳細に(計算式等)記入してください。

■支出の部 (①～⑬には助成(補助)対象経費となるもののみ記入してください。)

(単位：円)

経費区分	具体的な内容	積算根拠	金額
① 旅費・交通費	事務局スタッフ 交通費	1,000円×12回×5名=60,000	60,000
② 通信運搬費	①Wi-Fi使用料 ②郵送費	①5,000×2台×6か月=60,000円 ②普通郵便120円×200通=24,000円	84,000
③ 印刷製本費	イベントチラシ印刷費	チラシ(2000枚)8,500円	8,500
④ 消耗品費	①教材費 ②付箋 ③マーカー	①1,650円×10冊=16,500円 ②1,300円×2箱=2,600円 ③990円×10箱=9,900円	29,000
⑤ 燃料・光熱水費			
⑥ 使用料及賃借料	イベント会場使用料	30,000円×12回=360,000円	360,000
⑦ 保険料			
⑧ 諸謝金	①イベント講師 ②有償ボランティア	①講師氏名(〇〇代表) 165,000×12回=1,980,000円 ②1,200円×3時間×12回×5名=216,000円	2,196,000
⑨ 人件費	事務局スタッフ	1,600円×80時間×6か月×5名=3,840,000円	3,840,000
⑩ 広告料			
⑪ 研修参加費			
⑫ 委託料			
⑬ 手数料			
助成(補助)対象経費総額 (①～⑬の合計)			B 6,577,500
助成(補助)対象外経費	駄菓子	100×10袋=1,000円	1,000
計		収入合計(A欄)=支出合計(C欄)となります。	C 6,578,500

金額は、円単位で記入してください。

食糧費や備品購入費などの助成対象外経費や、他事業との併用等により、助成事業にかかる経費が明確でないもの(※)等については、この欄に記入してください。

※(例)団体において、パソコンをリースし、当該事業で使用しているが、団体の他事業でも使用している場合、当該事業にかかる経費が明確ではないため、対象外となります。

- * ①～⑬は募集要項の内容に基づき、できる限り詳しく記入してください。
- * ④消耗品費に助成(補助)対象経費として計上できるのは、購入単価5万円未満の物品および5千円未満の図書です。
- * 収入の合計額「A」と、支出の合計額「C」の金額は同一額となります。
- * 助成(補助)金は、B×1/2以内(上限300万円)となります。
- 注) 積算根拠については、金額欄の内訳がわかるよう詳しく記載してください。
- ・例えば、諸謝金で講師謝礼として支出を予定している場合、講師予定者および肩書き等を明記した上で、1回あたりの単価×講師依頼回数を記載するなど、積算根拠が分かるようにしてください。
- 注) 積算明細書・カタログ写し・見積書写し等を可能な限り添付してください。
- 注) 本事業は、大阪市からの他の助成、補助を受けていないものに限ります。また、他からの受託事業として実施していないものに限ります。
- 注) 収入の部の「助成(補助)金(市民活動推進助成事業)」と「その他助成(補助)金(国・府・他都市)」の合計金額【a】が支出の部の助成(補助)対象経費総額【B】を上回ることはできません。